

第14回 榎原市総合政策審議会

日時：令和6年5月29日（水）午前9時30分～

場所：榎原市役所分庁舎「ミグランス」2階 会議室A

出席者

- 委員： 久会長、佐伯副会長、東委員、大城委員、奥村委員、堀部委員、清水委員、玉井委員、中上委員、中村委員、前川委員、榎谷委員、三浦委員、山本委員
(欠席)中谷委員
- 事務局： 戸田企画戦略部長、加護財務部長、若森企画戦略部副部長、長谷川企画政策課長、山本企画政策課課長補佐、谷本企画政策課課長補佐、友井統括調整員、高橋係長、奥野主査、鍵谷主査

1. 開会

2. 議事

・榎原市第4次総合計画及び榎原市総合戦略について

事務局

それではただいまから議事に入ります。ここからは会長に進行をお願いしたいと思います。久会長よろしくお願いいたします。

久会長

それでは、議事を進めてまいりたいと思います。

まず、1つ目の議事に入ります。「榎原市第4次総合計画及び榎原市総合戦略について」でございます。事務局から、ご説明をお願いします。

事務局

(資料説明)

久会長

ありがとうございます。総合計画・総合戦略と榎原市総合政策審議会の関係と具体的な実施事項についてのご説明、後期基本計画・次期総合戦略の策定に関するお願いとなります。今回は、前期基本計画の策定から継続して参加いただいている委員の方も多くいらっしゃいます。後期基本計画及び次期総合戦略の策定等がありますので、審議会回数が多くなることとなりますが、ご協力をお願いしたいと思います。

それでは、質疑応答に移ります。ただ今のご説明に関して、ご質問やご意見はありますか。

はい、清水委員お願いします。

清水委員

後期基本計画と次期総合戦略の策定についてお伺いします。これらの策定は今年度から来年度にかけて行われると思いますが、今年度の到達目標をどの程度考えておられるのかについて教えてください。

久会長

ありがとうございます。事務局より回答をお願いします。

事務局

ありがとうございます。清水委員のおっしゃるとおり、令和6年度と令和7年度の2か年かけての策定を予定をしています。最終的な目標は、冊子として完成することですが、今年度の到達目標としては、市民アンケート等を実施し、樫原市の現状についての課題を出すこととしています。庁内においては、庁内ワーキングを開催し、その中で課題に対する解決案を出し、その解決案について議論を行う予定をしています。

- ・樫原市第4次総合計画前期基本計画 施策評価シートについて
- ・評価部会での評価について（議事が前後しています。）

久会長

今年度に樫原市の現状について議論を行い、令和7年度で案を固めていくというようなスケジュールになるかと思います。

他にご質問等いかがでしょうか。特にないようですので、続いて「第4次総合計画前期基本計画 施策評価シートについて」、事務局より説明をお願いします。

事務局

（資料説明）

久会長

ありがとうございます。私のほうから補足で、委員の皆様へのお願いも含めてお話をさせていただいてから意見交換をさせていただければと思います。評価の仕方については、何をやってきたかではなくどのように効果が出ているかというところを中心に見ていただきたいと思っています。PDCA サイクルということで、目的・目標を設定（P）し、それに向けて実行（D）します。C（チェック）が評価に相当し、A（アクション）というのはチェックを受けて、どのように次の年度も改善していくかという方向性になります。評価シートには、この内容が記載されているので、PDCA サイクルがきちんと回っているかどうかを評価していただければと思います。内容についてお気付きがあれば、評価部会で指摘していただければと思います。何を頑張ったかというところに関心が行きがちですが、それよりもシートの上側に記載のある施策の評価の成果が、シートの下側からきちんと読み取れるのかどうかというところに議論をしていきたいと考えています。抽象的な評価になるので、難しいお願いをしていると思いますが、

そのあたりを本日は協議させていただいて、評価部会を開催したいということをお願いをさせていただきました。

それでは、先程の事務局のご説明や私の補足を踏まえて、ご質問やご意見はございますでしょうか。はい、三浦委員をお願いします。

三浦委員

ご説明、ありがとうございます。市民アンケートについて、フォームを利用しアンケートの回答にご協力いただいたということですが、回答の際にもう少し具体的な解決策や改善案などを入力いただくことはできたのでしょうか。そうすれば、市民の方がどのように感じているのか等のご意見をいただき、気付きにもつながると思いますがいかがでしょうか。また、次回アンケートについて対応可能な方法を教えていただきたいと思います。

事務局

ありがとうございます。アンケートのフォームについては、三浦委員のご指摘のとおり個別の施策について、それぞれ自由記述で回答することができる仕様にはなっていません。アンケートの最後に自由記述欄がありますので、そちらでご記載いただけるようになっており、実際に様々な分野のご意見をいただいておりますので、そこから読み取ることは可能だと考えています。

久会長

アンケート調査の実施に当たっては、回答が手間だと思われると回答率が下がってしまいますので、できるだけ手間だと感じさせないように質問内容や構成を組み立てる必要があります。次回アンケートを実施する際には、そのあたりをご検討していただければと思います。

他の方、いかがでしょうか。はい、前川委員をお願いします。

前川委員

ご説明、ありがとうございます。アンケートについて、年代にばらつきがありますが、作為的なものでしょうか。年代別の考え方を見ていこうとすると、同じ割合でアンケートを取ったほうが良いのではないかと思いますがいかがでしょうか。

事務局

ありがとうございます。アンケートの回答年代についてですが、今回の調査方法は SNS や市のホームページ等で回答フォームを発信し、個別にアクセスして回答していただく方式だったため、こちらから回答者の年齢や性別等を設定することができないようになっています。令和2年度に実施したときアンケートと経年比較をする必要があり、アンケートの取り方を変更することができず、今回はこのような形での実施となりました。回答していただいた方の年代については、前回の回答と同様に50代の方の回答が最も多くなっています。ただし、今回は男女比が逆転しており、前回は男性が多く、今回は女性が多いという結果となっています。

久会長

男女の別や年齢を気にせずに、回答していただいた結果だというふうに考えています。今回はオンラインでの回答が主であったため、影響は若干出ているかもしれませんが、そのようなことを念頭に

数値を見ていただければと思います。

事務局

後期基本計画を策定する際にも、そのようなアンケートは実施していく必要があると考えていますので、統計学に則った内容、方法での対象者抽出やアンケートを行っていきたいと考えています。

久会長

その他、いかがでしょうか。はい、佐伯副会長お願いします。

佐伯副会長

今回の評価シートの実績値には、このアンケート結果が反映されていますか。

事務局

反映されています。

佐伯副会長

そうすると、どのような方法で取られたアンケートなのかということを委員が理解をしておかないと、評価が難しいと思われます。資料にはアンケートを実施した方法が記載されていませんので、無作為抽出かどうか、どのような方法で、どのような期間で実施したのかという基本的な情報が必要ですし、前回との比較をする場合には、先程おっしゃったような回答者数の変動(前回:約400名 今回:約1,000名)が記載されておきませんので、そのようなことも記載されたほうが良いと思います。

事務局

ありがとうございます。次回の評価部会では、アンケートの概要に関する資料を追加させていただきます。

佐伯副会長

補足になりますが、先程の説明の中でアンケートの回答者数は増えたが、評価が下がったという説明がありました。通常、アンケートの回答数が低いときには関心の高い方の回答割合が多い傾向にあります。そのため、回答率が低いときは行政に関する関心が高い人の回答が多く、評価も高くなることが多くなります。例えば健康に関するアンケートを実施する場合、回答率が低いときには健康に対し注意している人の健康習慣を聞くことになるので、回答率が低いときは健康に良い行動をとる人が多くなります。回答率が高くなると、あまり関心の高くない人まで回答することになるので結果としては悪くなります。今回は回答数も倍以上になっており、また、男女比も逆転しているため本当に比較可能なのかというくらい回答内容に違いがあると考えております。

久会長

ありがとうございます。佐伯副会長のご指摘も踏まえ、ご確認をお願いします。その他、いかがでしょ

うか。はい、清水委員お願いします。

清水委員

指標がアンケート結果となっているため、成果と指標がつながっているのかどうか、アンケート結果で実感として上がっているかがわかりづらく感じます。非常に成果は上がっているが、実感が上がっていないことが去年まで多かったので、アンケート結果をそのまま受け入れてしまうのは難しいと思います。

事務局

ありがとうございます。清水委員のご指摘のとおり、前期基本計画策定の際の指標設定についても、反省すべき点があると考えています。後期基本計画を策定する際には、施策分野の目指す姿や指標の設定についてもご意見をいただきながら策定していければと考えていますので、ご協力をお願いします。

・第2期樫原市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シートについて(議事が前後しています。)

久会長

目指す姿の記載も、目標になっているのかどうか評価しづらい文言になっていることもあります。そういう意味では、今回はそれを変わる機会でもありますので、後期基本計画の策定の際に、現状の目指す姿や指標が分かりにくいということであれば、そこについても協力いただき、策定の際にご意見をいただければと思います。そのような内容も踏まえて、今回の評価シートをご確認いただければと思います。他にご意見ないようですので、それぞれご担当の評価部会について資料を確認して評価をしていただきたいと思います。

続きまして、「第2期樫原市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シートについて」、事務局より説明をお願いします。

事務局

(資料説明)

久会長

ありがとうございます。先程の総合計画の評価とは内容もレベルも異なりますので、評価をしづらいと思いますが、頭の中で整理をしながら切り分けて評価をしていただきたいと思います。

何かご質問やご意見はございますでしょうか。はい、前川委員お願いします。

前川委員

国の地方創生デジタル関連の交付金事業の評価を、評価部会の第4部会で行うということで、そこで事業の詳細を担当課から評価部会で説明するというところでよろしいでしょうか。

事務局

担当課が第4部会の施策評価の際に出席しますので、その際に担当課から内容について個別に説明させていただく予定です。

前川委員

ありがとうございます。委員として会議に参加させていただいていますので、他の部会の内容について把握していないというようなことがないよう、ポイントを会議の中でご説明いただけるとありがたいと思います。

事務局

第4部会でデジタル田園都市国家構想交付金に関する事業の評価を行います。これは事業申請の際に審議会での審議・評価をしていただくという内容をもって申請をしたことによるものです。その評価について検討したところ、第4部会が担当する施策分野で個別に評価していただくこととなりました。評価を行うのは第4部会のみとさせていただきたいと考えております。ただし、第4部会で評価した内容は、コメント欄に記載をして、全体に共有させていただきます。効果検証の報告シートの一冊下の全体コメントがあり、冊子全体の評価にもなるので、担当する評価部会以外の内容について、意見や提案など全体を通して改めて個別にご意見をいただくことは可能です。その際に当該交付金に対して気になることがあれば、お伝えさせていただきたいと思いますのでよろしくお願いします。

久会長

前川委員の願いは、資料3-2の54ページ以降に、前回の具体的な事業の評価が記載されており、ここにはかなり詳しく事業費がいくらで何をやったのかということが記載されており、少なくともこの情報は全ての委員に共有してくださいということかと思いますので、この件については共有されるということでしょうか。

事務局

共有いたします。最後に、評価とコメントを含めて効果検証の内容としてまとめさせていただきます。

・今後のスケジュール及び評価部会の構成案について

久会長

その他よろしいでしょうか。この内容についても、評価の段階でご質問等が出てくるかと思しますので、その際は事務局の方にご連絡いただければと思います。

続いて、「今後のスケジュール及び評価部会の構成案について」、事務局から説明をお願いします。

事務局

(資料説明)

久会長

ありがとうございます。ただ今のご説明について、ご質問やご意見はございますでしょうか。はい、中上委員をお願いします。

中上委員

評価部会の構成について、私は昨年度と同じ部会ですが、理由はありますか。

事務局

市民公募委員の方については、1つの部会に2名入っていただいております。スケジュールの調整の結果、昨年度と同じ部会となっております。

久会長

他にいかがでしょうか。タイトなスケジュールになっておりますが、6月から7月にかけて様々な作業をお願いすることになりますので、よろしくお願いします。それでは、進行を事務局にお返しします。

事務局

久会長、ありがとうございました。以上で予定していた案件は全て終了いたしました。委員の皆様、長時間に渡るご審議、ありがとうございました。次回の橿原市総合政策審議会は、7月2日(火)、3日(水)、4日(木)、5日(金)に評価部会を、8月5日(月)午後1時30分から全体会を開催する予定です。また、先程の説明にもありましたとおり、今年度から第4次総合計画後期基本計画および次期総合戦略の策定に着手いたしますので、委員の皆様のご出席ご審議をよろしくお願いいたします。それでは、これで本日の総合政策審議会を閉会いたします。皆様ありがとうございました。

(以上)